

+Affiliated with the International Association
THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0913
東京都八王子市北野台 2-10-4
久保田 貞視
TEL & Fax: 042-636-3317
E-mail: sskubota21@tokyo.yaq.jp

2026年9月

The Service Club of The YMCA

第375号

東京ハ王子ワイズメンズクラブ

会 長 久保田 貞視
副会長 並木 真
書 記 長谷川 あや子
会 計 稲葉 恵子
直前会長 長谷川 あや子
担当主事 西嶋 健太
ブリテン 山本英次 大久保重子
並木 真

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトビッグ（ノルウェー）主題「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」 スローガン「YMI—人生を力づける」
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン（タイ）主題「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」スローガン「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」
東日本区理事 山下 真（十勝クラブ）主題「挑戦なくして進化なし」
スローガン「響け 挑戦のブルーミュージック」
あずさ部部長 大和田 浩二（松本クラブ）主題「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう！！」～改革を引継ぎ、さらに発展させる～
ハ王子クラブ会長 久保田 貞視 主題「脚下照顧で進一層！」
スローガン「ユースと共に地域社会で奉仕活動を！」

2026年9月例会 プログラム

日時: 9月19日(土) 18:00~20:00
会場: 北野事務所 大会議室
担当: B班(並木(真)、望月、花輪)
受付: 望月ワイズ
司会: 花輪ワイズ
開会点鐘 久保田会長
ワイズソング 一同
ワイズの信条 一同
ゲスト、ビジターの紹介 久保田会長
聖書朗読・感謝 並木(真)ワイズ
卓話者紹介 久保田会長
卓話: 「高尾わくわくビレッジの現状・利用状況」
高尾わくわくビレッジ館長 西嶋健太氏
東京YMCA 報告 西嶋ワイズ
報告・連絡事項 会長・各委員
スマイル 望月ワイズ
ハッピーバースデー 久保田会長
閉会点鐘 久保田会長

今月の卓話者・西嶋健太氏



先月の例会ポイント (8月)

在籍	11名	切手	福田: 33g	大久保: 28g	計 61g
メン	8名				
メイキャップ	1名				
出席率	90%	現金	0円		
メネット	1名	スマイル	21,510円		
ゲスト	2名	累計	30,510円		
ビジター	6名				

今月の聖句 (2026年9月)

キリストは私たちの平和であり、二つのものを一つにし、ご自分の肉によって敵意という隔ての壁を取り壊し、数々の規則から成る戒めの律法を無効とされました。こうしてキリストは、ご自分において二つのものを一人の新しい人に造り変えて、平和をもたらしてくださいました。十字架を通して二つのものを一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼしてくださったのです。
(エフェソの信徒への手紙 2:14~16 聖書協会共同訳)

巻 頭 言

直前会長感謝会挨拶

八王子クラブ久保田会長開会のご挨拶

今日は令和8年8月8日

です。8が3つ続く

ということで、こ

の一年間はいい

日が続くのでは

ないかと思いま

す。八王子ワイズ

も多摩スマイルもみ

んな拡大していく期待感が

あり

ます。会長感謝会は、これまで30年以上続いてい
ますが、場所を一昨年从这里に変更しています。今日
はお酒は飲み放題ですが、決まったお酒しか出ません
が、ご了承ください。

続きましてゲストの紹介。福田勝江さん。元八王子ワイズのメンバーで今は休会の形になっています。それから渡辺敦さん。ひつじぐものOBで最近種々協力していただきます。草刈にも来てくれて非常にYMCAワイズ関係に興味を持っていられしゃるので、仕事と同時に続けていただきたいと思います。ビジターは東京多摩スマイルクラブから応援団、藤田先生、綿引さんと田中博之さん。よろしくお願いします。田中博之さん。よろしくお願いします。3人とも八王子の住人で、八王子をサポートすることを約束してくれてますので、よろしくお願いします。次はワイドウェストクラブ。山口さんは元武蔵野多摩クラブのメンバーで、あずさ部の直前部長です。篠原文恵さんは元東京西クラブ。次は小原史奈子さんは、たんぽぽクラブのメンバーで、現在は同じクラブです。元は違うクラブから3人いらしてくださいました。ひつじぐもの霞ひかるさんは委員長で、ここ一年間いろいろ協力していただき、本当に感謝してます。もう一人は鳥越さんです。今日はありがとうございます。

長谷川あや子直前会長へ記念品贈呈

続きまして、八王子クラブの直前会長でおられます長谷川様への感謝の言葉と記念品の贈呈に移らせていただきます。

『感謝しかないですね。感謝しなきゃいけないですね。長谷川さんはやっぱり、さすが会長3回目を務め



ていただいたんですが、きめ細かくて、人当たりが良くて、みんなをサポートしてくれる立派な会長さんね、無事一年間終わりました。次の4回目はまもなく来るところですけど。色々とお王子のために、長谷川さんなくしては八王子じゃなくなるような存在ですので、本当に感謝しております。本当にありがとうございます。記念品もね、全然値上がりしないんですよ。過去30年間ね。申し訳ないです。よろしく願いします。ありがとうございます。

長谷川あや子直前会長のご挨拶



本当に八王子クラブの皆さんのご協力のおかげです。「八王子クラブは全員野球だよ」って入った時から言われていたんです。そうやって「誰でもできる。み

んなが支える」という言葉を合言葉にしてやってきたんですけれども、そのおかげで一人一人が自分の出来ることを精一杯やって下さって、そんな一年間、私はひしひしと感じておりました。

振り返ってみますと、初めて会長をさせていただいたのが入会6年目で55歳の時だったんです。本当に初々しくて。2回目は60代で、3回目が70代になりました。4回目が80代になってくる？

でもそうやってみると、ワイズのおかげでいい年を重ねてきたんだなって、今日改めて思いました。本当にありがとうございました。

山口直樹あずさ部直前部長のご挨拶



「八王子祭りの日にお祭りに負けなくらい楽しい納涼例会でした。あずさ部直前部長ということで乾杯をさせていただき光栄に預かり、うれしい限りでした。

ワイズ特にあずさ部のつながりや、日常の活動の素晴らしさを感じることができました。

ありがとうございました。」

あずさ部第1回評議会参加報告

稲葉恵子

2026—2027年度 あずさ部第1回評議会が8月1日(土)、長野県長野市生涯学習センター大学学習室にて行われました。八王子クラブからは久保田会長、長谷川さん、稲葉の3名で出席致しました。



長野駅善光寺口から善光寺へ続く表参道の石畳が続くだけで歴史を感じる道でした。

街では、毎年8月第1土曜日に行われる『長野びんずる』の準備で賑わっていました。

歩いて10分程の長野市中心にある TaiGO WEST ビル4階ホールではホスト長野クラブ総勢6名の方々が温かく出迎えて下さいました。

評議会は開会点鐘から始まり、評議会45名の出席者の下議案審議に進みました。

議案審議

*第一号議案:2025—2026年度会計報告 幹事報告…承認



*第二号議案:次次期(2028—2029)部長クラブ推薦の件…承認

*第三号議案:2026—2027年度あずさ部予算の修正の件…承認

また、ホスト長野クラブの提案で熊本大地震の緊急救援募金が行

われ、32,091 円が東日本区を通じて被災地に送られました。

審議終了後、長野クラブメンバーのトーンチャイムの伴奏でYMCAの歌を合唱し閉会点鐘となりました。

全員写真撮影を行い、第一部終了後、会場を『レストランやま』に移動し懇親会「あずさの集い」が催されました。その席で9月にマレーシアペナンで行われるIYC参加者のひつじくもの中央大学の学生に1万円の助成金を用意して下さい久保田会長がお預かり致しました。

長野クラブの方々の温かいおもてなしをいただき、和やかな楽しい宴でした。

最後に長野クラブのメンバーのご指導により、トーンチャイムの伴奏を出席者皆さんも参加され『ふるさと』を大合唱し、

会は無事盛会のうちに終わりました。

ホスト長野クラブの皆様、心より感謝申し上げます。

ちなみに『長野びんずる』とは 善光寺の市民参加型のお祭りではしゃもじを打ち鳴らしながら「ソーレ」の掛け声で街を練り歩く『びんずる踊り』が有名で長野の夏の風物詩として親しまれているそうです。

びんずるとは お釈迦様の弟子である「賓頭盧」様にちなんでいるそうです。



善光寺参道を埋め尽くす「びんずる祭り」



お釈迦様の弟子である「賓頭盧」様



八王子クラブ参加者:久保田・長谷川・稲葉の各々

あずさ部他クラブ納涼例会に参加して

久保田貞視

8月に入り、当クラブの直前会長感謝会・納涼例会に続いて東京地区の他のクラブも納涼例会として開催、うちあずさ部の2クラブの例会に出席しましたので概略報告いたします、

1. 東京ワイドウェストクラブ

8月11日(祝・火)13:0より、ライオン新宿エルタワー店で



東京ワイドウェストクラブ納涼例会

東京ワイドウェストクラブ合併後の最初の納涼会が開催され出席しました。会員の他にビジターは小林次期区理事(熱海グローリークラブ)、綿引区事務所長(東京多摩スマイルクラブ)、樋口ワイズ(東京グリーンクラブ)関元石巻広域クラブに仙台青葉城クラブに転出された中村ワイズ、久保田を含めて20名が出席。日本YMCA同盟職員で会員の田附ワイズの司会で渡辺会長の挨拶、最高齢者の神谷ワイズの乾杯で会は始まり、盛り上がりしました。これまで約1年続いてきた3クラブ合同例会とほとんど変わらない体制ですが、各クラブメンバーがワイドウェストクラブに自然に溶け込んでいる印象を受けました。最後に出席者全員の一言を述べ合い閉会となりました。

2. 東京サンライズクラブ

東京サンライズクラブの納涼例会は8月20日(木)12:30より銀座一丁目の北京ダック専門店・民福で12人が2テーブルに別れ美味しい四川料理を頂き、飲み放題で和やかなひと時を過ごしました。当クラブの男性の出席者は大谷会長だけで、長津ワイズ、菰刈ワイズ、江原ワイズの3人は体調を崩しており、彼らのメネットが参加、他に東京ワイドウェストクラブより4人と私がビジターで、男性は大谷会長、ビジターの山口直前あずさ部部長の3人だけで、他は皆女性で華やかな納涼例会でもありました、ビジターのうち東京ワイドウェストの3人(篠原ワイズ、小原ワイズ、山口ワイズ)は八王子クラブの他に8月19日に浅草で開催された東京グリーンクラブの納涼例会にも出席、積極

的にクラブ間の交流を図っていました。正に納涼例会はクラブ間の交流促進にも良い機会を提供してくれます。ただ当クラブの欠席された男性3人が皆病気療養中で、クラブ活動にも影響があると思われますし、彼らの早期快



復を祈り、会場を後にしました。

東京サンライズクラブ納涼例会

東京多摩スマイルワイズメンズクラブ 10周年記念感謝会 地域奉仕・YMCA支援の継続方針

2026年8月23日 Zoom開催

オンライン開催の趣旨

Zoomによるオンライン開催。

遠くの方、高齢の方も参加しやすいように、また、クラブにも参加者にも費用がかけられないようにしたいというのが目的。
鳩山担当主事による祈祷。国内外の紛争・自然災害(豪雨、地震)被災者への祈りと復旧への願い。

綿引会長の挨拶・方針



10周年到達の報告と支援いただいた方々への謝意。
地域への奉仕とYMCA支援の2つの使命を再確認。

ぼんぼ農園やプランター

野菜講座の成果を地域へ還元してきたことを紹介。

10年の歩み(映像紹介・田中さんによるナレーション) クラブの沿革と合併

2016-07-17: 東京多摩みなみワイズメンズクラブ設立(会員15名)。チャーターナイト参加者101名。

2019-02-24: 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ設立(会員11名)。

2022-08: 東京町田コスモスクラブも含め合同例会を1ヶ月おきに開催開始。

2023-07-01: 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルクラブが合併し、「東京多摩スマイルワイズメンズクラブ」誕生。初代会長は伊藤幾夫。初例会は40名参加。

主な活動

YMCA 支援：東京 YMCA 夏祭りに毎年出展(冷やしためきうどん提供)。クラブバナーのためきは「平成ためき合戦 ぼんぼこ」に由来。

西東京センター(国立駅前)を支援。ウォーキングプログラム「ペタペタの会」は今も継続。

ぼんぼこ農園：2017-08-28 開始。町田市野津田の畑で季節野菜を栽培。



節野菜を栽培。収益と野菜は「ほくの家」「慈有塾」に寄付。

地域イベントとファントレーシング：多摩市落合地区夏祭りで模擬店出展(今年の収益は約6万5千円)。チャリティーラン、台風被災者支援バザー、「W4W」活動など。

東京町田スマイルクラブは、「歌声広場」を複数の施設で開催。玉川学園夏祭り、市民クリスマスの集いなどに参加。

コロナ禍での対応：2020年3-6月は例会中止、7月からZoomで再開。現在はハイブリッド開催を継続。「つながりマスク」活動で約140枚を製作しYMCA施設へ寄贈。

オンライン講座

プランター野菜講座：2020年9月開始。藤田智さんが講師。これまで9期48回、延べ200名超が受講し、寄付総額は40万円以上。収益は東京YMCA、ほくの家、慈有塾へ寄付。第10期を2026年9月29日より開講予定。

茶の湯入門講座：2026年3月、深尾香子さんにより試行開催。好評を得た。

昨年の東日本区大会で最優秀クラブ賞を受賞。

来賓祝辞の要旨

東京YMCA総主事・星野太郎さん：YMCA支援への感謝とぼんぼこ農園のユニークさを称賛。

東日本区理事・山下真さん：合併後の活動と伝統と革新の両立を高く評価。

東京町田コスモスクラブ会長・山口和彦さん：地域社会との連携活動を称賛し、共に歩む姿勢を表明。

10周年の祝辞と挨拶

深尾香子さん(東新部部長)：メンバーが能力を活かし協力してきた10年を誇りに思うと挨拶。「ブルーミュージック(癒しの時間)」をキーワードに今後の活動への抱負を語った。



会長の発声で乾杯

地域に密着した活動を評価し、クラブの永続を祈念。乾杯後、オンラインで記念撮影を実施。



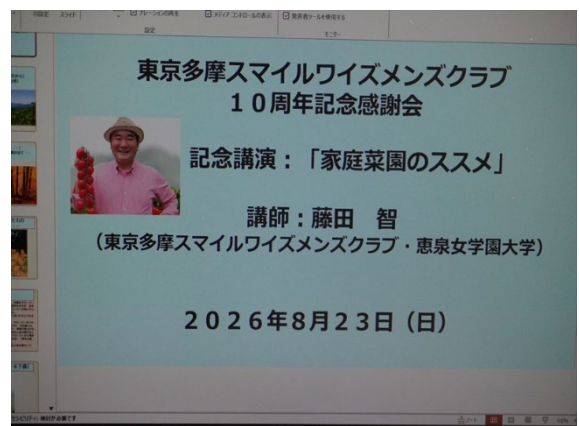
記念講演「家庭菜園のススメ」(藤田 智先生)

講演者紹介：NHK「趣味の園芸」「チョコちゃんに叱られる」などに出演。

野菜の定義と種類：野菜と果物の違い(イチゴ、スイカは、栽培上は野菜)、日本原産の野菜(フキ、セリ等)と外来種(トマト、ナス等)を紹介。

家庭菜園の進め方：里芋とミニ大根のプランター栽培方法を具体的に解説。里芋は低カロリーでカリウムが豊富、大根の葉は栄養価が高いことなどを紹介。

野菜作りと健康：家庭菜園が健康寿命を延ばし、認知症発生率を低下させる効果(芝浦工業大学の研究)があると説明。畑を耕す動作は下半身の筋肉を鍛え、動脈硬化予防



にも繋がる。

農業と家庭菜園の目的の違い：生産農業が「経済目的」であるのに対し、家庭菜園は「喜びやコミュニケーションの創出」が目的。忍耐力を育み、「大地を耕すことは人の心を耕すこと」であると述べた。

記念品の贈呈

クラブから東京 YMCA へ記念品の目録を贈呈。

東日本ワイズ基金(JFE 研究)へ記念献金を実施。

欠席の八王子クラブ・並木真氏からの祝辞が代読

『10 周年誠にありがとうございます。』

東京多摩スマイルのメンバーの皆様は、東京八王子クラブにも欠かせない方々ばかりです。そして、メンバー皆様の個々のお働きが、際立っているのが、東京多摩スマイルの特徴だと思います。10 年といえば、渡辺美里の「10 years」。過ぎ去った過去の青春を懐かしみながらも、厳しい現実を受け止め、未来へ向かって焦らず、自分らしく歩んでいこうとする強い決意を描いた、人生の節目に寄り添う名曲です。

あれから 10 年も、この先 10 年も、振り向かない、急がない、立ち止まらない、君だけを、僕だけを愛した時を、今も誇りに思うよ。ずっと誇りに思うよ。

皆様のこれからの 10 年も、今までの歩みをかみしめながら、素晴らしい明日へ、どうぞ、これからもよろしくお願ひ申し上げます』

閉会の挨拶

綿引浩二氏：参加者への感謝を述べ、「千里の道も一歩から」として 20 周年、100 年続くクラブを目指す抱負を語った。

「在京 10 クラブの会」報告要約

- 日時・形式: 2026 年 8 月 26 日(水) 19:00~20:30(オンライン ZOOM)
- 出席者: 17 名(全 10 クラブから参加)
- 進行: 小原史奈子

1. 全体協議・近況報告

- 山手学舎(男子学生寮)の舎生募集・サポート: 舎生減少の現状を受け、地方の男子学生への紹介やサポートなどの協力を呼びかけた。また、東京 YMCA(熊沢氏)より、卒業後に会員として残りくい課題感も共有された。
- 被災地支援(熊本地震): 熊本 YMCA を中心に全国 YMCA が避難所運営などのサポートを実施中。
- 秋のイベント等: 各種イベントや行事情報の共有を行った。

2. 各クラブの主な活動報告・予定

- 東京: 9/8 合同例会にて大槻展子弁護士(元 YMCA ユース)による卓話(ZOOM 参加可)。
- 東京江東: 8/22 園庭手入れ&納涼例会。9 月に入会式およびチャリラン(3 チーム登録)予定。
- 東京むかで: 8/18 キャンプノング例会。10 月例会で野尻キャンプ報告会を予定。
- 東京グリーン: 8/19 浅草で納涼・インド理解例会。9/16 卓話「アフリカ村落給水」、10/10「神田川船の会」。
- 東京ワイルドウェスト: 8/11 納涼例会。9/5 京都部会にてヘキサゴン DBC 締結式(9 名参加)。
- 東京ひがし: 8 月例会は DBC 京都ウエスト交流(深川大祭)。9/12 災害スタディ、10 月グリーンレンジャーなど毎月イベント実施。
- 東京サンライズ: 8/20 納涼例会。9/17 並木真氏によるユース活動勉強会、9/26 富士山 5 合目合同例会(富士五湖 C と共同)。

*・東京八王子: 8/8(土)直前会長感謝会

元メンバー、近隣クラブ、中央大ひつじぐもからも出席

- ・IYC に吉川日奈子さん応募 10 月卓話「IYC 報告」
- ・11 月「野鳥の話」田中博之ワイズ(多摩スマイル)
- ・八王子クラブが東京町田スマイルクラブと高尾オクわくビレッジの合同で 10 万円寄付し、八王子でランナーを組成して(チーム名:八王子・町田&フレンド)として東京 YMCA チャリティランに参加
- ・町田コスモス: 8 月納涼交流会。9 月より玉川学園にて多摩スマイルと隔月合同例会。11/6 チャリティコンサート開催。
- ・多摩スマイル: 8/23 10 周年感謝会。9 月よりプランター野菜栽培講座再開、秋に熊本支援の報告機会を検討。

3. 東京 YMCA 会員部からの案内

- ・チャリティラン(9/4 登録締切): HP より個別登録。
- ・2026 災害スタディ(9/12 東陽町センター): 防災まち歩き(参加費無料)。加藤祐一氏による「カー折り」レクチャーあり。
- ・熊本地震支援: 八代市の避難所運営を全国 YMCA で支援。東京 YMCA からも 1 週間交代で派遣中。
- ・山中リユニオンキャンプ 2026: 9/21~23 山中湖センターにて開催。
- ・公式 HP リニューアル: 各種情報の確認を呼びかけ。

今月の聖句に寄せて (2026年9月)

「ここにどんな手段をもって行っても怒らすことのできないただひとりの人があった。棘の冠をかぶらせても、手のひらで打っても、つばきしても、十字架につけても、怒らすことのできないひとりの人があった。憤怒の颱風が吹きたいだけ吹いても、この愛の巖を動かすことはできなかった。憎悪の潮が来ただけ来ても、この愛の堤を崩すことはできなかった。キリストの死は憎悪に対する愛の勝利であった。ここに憎悪は非常の勢力をもって愛と衝突をして愛の撃退するところとなった。今からのち憎悪はその猛威を誇ることはできない。すでに一回人の子の打ち破るところとなって、憎悪の殲滅はすでに宣告された。キリストの愛の死によって世界平和の端緒は開かれた。キリストは十字架に上って、愛は最高の位についた。」

(内村鑑三著「一日一生」、一年366日のうち「6月18日」のページより)

内村鑑三は「一日一生」の序文で、「一日は貴い一生である。これを空費してはならない。そして有効的にこれを使用する道は神の言を聴いてこれを始めることにある。」と記し、一年366日の日毎の糧として、各日の聖句とこの聖句に対応する感想を付しています。今月の聖句は、その6月18日に選ばれているもので、上記はこれに対応する感想です。

序文は、1926年9月7日に記され、この年の10月20日に警醒社から出版され、その後、文庫版も含め、いくつかの出版社より刊行され、多くの人々に読み継がれてきました。

今年、2026年は、初版が刊行されてから100年の記念の年にあたります。

今、私が手にしているのは、教文館よりの[新版]ですが、まだ、手にされたことのない方には、是非一冊、お勧めしたい書ではあります。

並木信一



高尾わくわくビレッジ便り

館長 西嶋健太

朝夕にわずかな涼しさが感じられるようになり、少しずつ秋の気配が近づいてまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

子どもたちが自由に作ったり、考えたり、遊んだりできる場「VMSTOP WAKU VILLE(ヴィヴィストップ ワクビレ)」では、会員数が大きく伸びた夏となりました。体験会を積極的に開催したおかげで、八王子市教育委員会のご協力のもと近隣の小中学校へチラシを配布した結果、8月末にはおおよそ倍の人数となりました。スタッフ一同、手応えを感じているところです。賑やかさが増す中、8月21日・22日には石川県金沢市のVMSTOP KANAZAWA(金沢)から小学6年生のお子さんが来館しました。彼はVMSTOP KANAZAWAにてキャンプ遊びを自身で考え、子ども向けのワークショップなどを開催しています。初日は流しそうめん



えし、翌日は彼が考えたキャンプ遊びのワークショップ

を開催しました。子ども同士が全国をつないで交流する、ほまえまいひと幕となりました。また、この秋には地域のイベント「多摩大橋クリーンフェス」への出店も決まっています。お店の名前や売り値を自分たちで考え、実際に販売を体験するこの取り組みは、売り上げの使いみちを子どもたちが職員に提案するという仕組みも検討しており、社会への大切な第一歩となりそうです。

施設の活動は子どもたちのためだけにとどまりません。8月18日から21日にかけては、スタッフ1名を熊本の被災地へ派遣しました。現地に向けない方の中には、支援のための寄付をしてくださった職員もあり、立場や距離を超えた温かいつながりを改めて感じます。今後も引き続き支援を継続してまいります。

さらに、大学や専門学校の関係者の方々を対象に、体を使ったチームワークづくりのプログラム「プロジェクトアドベンチャー」を体験していただくイベントも開催しました。施設のさまざまな活用方法をご紹介します。今後のご利用につなげることを目指しており、12月から来年3月にかけても同様のイベントを2回予定しています。

厳しい残暑の中、子どもたちも職員も精一杯の夏を過ごしました。実りの秋を迎え、これからの活動がさらに豊かに広がっていくことを願っております。引き続き温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

ひつじぐも便り

中央大学法学部 3年
櫻井 未佳子

皆様、いかがお過ごしでしょうか。ひつじぐもで副委員長を務めております、法学部3年の櫻井未佳子です。日頃より八王子ワイズメンズクラブの皆様には温かいご支援とご指導をいただき、心より感謝申し上げます。

8月に入り、大学は夏休み期間を迎えました。メンバーそれぞれが帰省や旅行、学業などに励む時期でした。8月は活動の数自体は控えめでしたが、児童館でのボランティア活動と八王子駅でのゴミ拾い活動を実施いたしました。児童館での活動では、夏休みでいつも以上に元気いっぱいな子どもたちと交流し、一緒に汗を流しながら楽しい時間を過ごしました。子どもたちの笑顔から、私たち自身もたくさんエネルギーをもらうことができました。また、ゴミ拾い活動では、雨が降り始めたため早めに切り上げましたが、コミュニケーションを取りながら仲良く取り組むことができました。街の美化に貢献するだけでなく、普段の大学生活とは一味違う形でメンバー同士の会話も弾み、良い機会となりました。

また、ひつじぐもでは現在、9月5日にイオンモール川口で開催予定のイベントに向けて準備を進めております。今回のイベントでは「海洋ゴミ」をテーマに掲げ、ご来店されるご家族や子どもたちに、楽しみながら環境問題について考えてもらえるような企画を検討しています。以前みさわ児童館で開催したのと同じ内容になっております。「街と海は繋がっている」ことを意識してもらうというのを最大の目標に、メンバー一同、試行錯誤を重ねながら準備を行っているところです。

秋に向けて世代交代や新しい取り組みが本格化していきますが、八王子ワイズメンズクラブの皆様とのつながりを大切にしながら、温かい雰囲気を守りつつ活動していきたいです。皆様の温かい見守りに支えられながら、これからも一歩ずつ前進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



特別寄稿

直前会長感謝会へ参加して

中央大学総合政策学部国際政策文化学科 3年
ひつじぐもサークル 鳥越琴乃

暑い日が続いておりますが、皆さまお元気で過ごしてでしょうか。夏休みも残り少なくなってきました。私は大学3年生ということもあり、就職活動の一環としてサマーインターシップに参加するなど、忙しくも充実した日々を過ごしています。就職活動を通して将来について考える機会が増えた一方で、残り少なくなってきた学生生活も大切にし、今しかできない経験を楽しみながら過ごしていきたいと思っています。

私はこれまでワイズメンズクラブの皆さまと一緒に、能登半島への募金活動やチャリティーコンサートのサポートなど、さまざまな活動に参加させていただきました。活動を通して、地域の方々とのつながりを大切にしながら、誰かのために行動すること、そして社会に貢献することの大切さを学びました。普段の大学生活では関わる機会の少ない世代の方々とも交流することができ、自分自身の視野を広げる貴重な経験にもなっています。

また、ワイズメンズクラブの皆さまには、いつも私たちひつじぐもの学生のことを気にかけていただき、本当にありがとうございます。活動の際にはいつも気さくに声をかけてくださり、私たちが安心して活動に参加できるよう温かく支えてくださっています。世代が違うからこそ、活動を通してさまざまな話を聞かせていただいたり、交流したりすることができていることを嬉しく思っています。これから就職活動が本格化し、これまで以上に忙しくなると思いますが、学生のうちにできるボランティア活動や地域との関わりをこれからも大切にしていきたいです。そして、ワイズメンズクラブの皆さまからいただいた温かいご支援やご縁を大切にし、私自身も誰かのために行動できる人になれるよう努力していきたいと思っています。これからもワイズメンズクラブとひつじぐものつながりを大切にし、皆さまと一緒に活動できることを楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



東京 YMCA 便り

担当主事 西嶋健太

1. 熊本で7月28日に大規模な地震が発生し、緊急支援募金を全国YMCAで一斉に開始した。東京YMCAではHPやメールマガジンで募金協力を呼びかけている他、下記の通り街頭募金を実施した。
8月4日(火)17:00~18:00 高田馬場駅周辺 参加者24名 募金額 ¥150,323
8月5日(水)18:00~19:00 東雲エリア 参加者33名 募金額 ¥84,036
8月5日(水)17:00~18:00 新宿駅南口周辺 参加者25名 募金額 ¥77,398
8月6日(木)17:00~18:00 東陽町駅前周辺 参加者20名 募金額 ¥81,457
8月18日(火)17:00~18:00 東京駅丸の内北口オアゾ前 参加者21名 募金額 ¥43,091
2. 熊本地震の復興支援活動を検討するため、8月4日から日本YMCA同盟と東京YMCAの職員(村上祐介会員部・賛助会・募金・FD室・ウェルネス事業部統括)が熊本市内を中心に被災地の視察を行った。また熊本YMCAは八代市より委託を受け、八代市の2つの避難所の運営を8月17日より開始した。これに協力し、全国YMCAのスタッフが交替で避難所の運営サポートを行っている。東京YMCAからも、8月末までに7人を、その後も12月末頃まで継続して交替でスタッフを派遣する。
3. 東京YMCA高等学院が小田原短期大学等と協働で実施している「都市部におけるホテル観賞会(屋内自然体験プログラム)」が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催「キッズデザイン賞」を2年連続で受賞した。都心部の子どもたちに本物のホテルの光や生命の営みに触れる機会を提供し、環境教育や世代間交流に寄与する「都市部における自然体験の新たな教育モデル」としての継続的な実践と、大学と社会教育団体の協働による質の高い体験活動の創出が高く評価された。
4. 今後の主な行事予定
・「関東大震災第103周年記念追悼合同早天礼拝」9月1日(在日本韓国YMCA9階国際ホール)
説教:金性済牧師(東京韓国YMCA理事、日本キリスト教協議会元総幹事)
・「第40回インターナショナル・チャリティーラン」
駅伝大会:9月26日(都立木場公園)

上段へ続く

下段より続く

オンラインウォーキング大会:11月下旬~12月上旬(全国YMCA共通)

- ・「第2回ユニバーサルフェスタ」10月3日、4日(山中湖センター)
- ・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」(横浜YMCA共催)10月24日(横浜外国人墓地)
- ・「第28回愛恵エッセイ」11月13日まで作品募集(愛恵福祉支援財団との共催)

テーマ:豊かな福祉社会を創るために-私たちが今、できること-

- ・「第24回日本YMCA大会」11月27日~29日(日本YMCA同盟東山荘)

テーマ:Evolving Together

- ・「賛助会年会・アドバイザー会」11月16日(アルカディア市ヶ谷)

5. 深 悼

若槻史郎氏(学校法人東京YMCA前理事長・元公益財団法人東京YMCA理事・名誉会員)

8月14日召天 享年82

今月の例会報告

2026年8月第一例会・報告

書記 長谷川あや子

【報告】

●2026年8月第一例会(直前会長感謝会)

日時:2026年8月8日(土)16:30~18:30

会場:北海道八王子駅前店

出席:稲葉、大久保、久保田、久保田佐和子、西嶋、

長谷川、花輪、望月、山本

ゲスト:福田勝江、渡邊敦

ビジター:綿引康司、田中博之、藤田智(多摩スマイル)、

山口直樹、篠原文恵、小原史奈子(ワイドウエスト)

ひつじくも:霞ひかる、鳥越琴乃

・直前会長への感謝— 記念品贈呈

・熊本地震災害支援募金=21,510円

●8月第二例会

日時:8月22日(土)18:00~19:40

会場:北野事務所小会議室

出席:久保田、稲葉、並木真、花輪、望月、長谷川

・NYC(マレーシア・ペナン)9月7~13日

ひつじくも吉川日奈子さん

・YVLF 9月4~6日 高尾の森わくわくビレッジ

・東京YMCAチャリティーラン 9月26日(土)

チーム名—八王子・町田 Y's&FRIENDS

- ・第25回チャリティコンサートについて
目的—地雷廃絶のためJCBLに寄付
 - ・3月の街頭募金—熊本地震災害支援募金
 - ・甲府21クラブぶどう棚下例会 9月12日
久保田、久保田メネ、花輪、長谷川、岡垣
 - ・富士山例会 9月26～27日—稲葉、久保田
 - ・10月第一例会 10月10日(土)
卓話「マレーシア・ペナンでのIYCについて」
ひつじぐも吉川日奈子さん
 - ・11月第一例会 11月14日(土)
卓話「野鳥の話」(仮題) 田中博之ワイズ
 - ・12月クリスマス例会 12月19日(土)15:00
高尾の森わくわくビレッジ音楽室
11月中旬には会費を決め出席者をまとめる。
- ※使用済み切手は1キログラム以上で提出のこと。

9月の誕生祝い!

大久保 重子 さん 9月12日

稲葉 憲司 さん 9月17日

感謝会参加者スナッフ

(撮影は多摩スマイルクラブ・田中博之さん)

